

商店街の今後について

新風会
多比良和伸

問 商店会に対し補助をして活性化を促したわけですが、各種イベントにおいて一定の成果が見られている様に思えます。次年度も継続して補助するのはいかがでしょうか。

答 本年度の実績報告を受けた後、内容等を検証したうえで、次年度も砂川商店会連合会の役員の皆さまのご意見を伺いながら検討していきます。

問 商店街活性化に向け、提案として「砂川商店街商品カタログ」を作成し販売促進することで、現状を何も変えなくても持続可能な販売力を向上させることも可能ではないかと思えます。

答 今後は経営コンサルタント等を講師に研修会を開催し商店街活性化対策としての支援を検討したい。また、人材育成に対する研修経費の全額助成制度にて将来の商店街の明るい展望につなげたい。

企業誘致について

問 今年は企業誘致が実現されておりませんが現在の進捗状況と今後の展望について伺います。

答 近年では上原ファーム等、過去5年で7件です。現在は砂川に変電所があるため、メガソーラー発電拠点誘致に向けソフトバンク三井物産等4社に対し道央工業団地を提案中です。今後は11月頃に東京都内の企業訪問を予定、次年度には同じく東京にて企業立地フェアに向け出展を検討中です。



市立病院での「病理診断」について

日本共産党
土田 政己

問 砂川市立病院は札幌、旭川間では唯一のがん診療連携拠点病院の指定を受けていますが、検査や手術で摘出した、がんなどの病巣を顕微鏡にて診断する「病理診断」の現状と今後の取り組みについて伺います。

答 「病理診断」は、臨床医である各診療科の主治医が見つけた腫瘍などの病変部より採取した組織や細胞から、顕微鏡用のガラス標本をつくり、その標本を顕微鏡で観察して診断することで、大きく分けて臨床医が内視鏡や手術で採取した病変診断する、「組織診断」と臨床医が採取した細胞を診断する「細胞診断」があります。

「組織診断」のなかで、病変部が体の深いところにあるため手術前に採取し診断出来なかった場合には、手術中にがんの悪性度や広がりなどを調べる「術中迅速診断」を行い、執刀医の手術方針が決定されます。

その「病理診断」を専門する医

師が病理医であり、大きな役割を果たしています。

当院では現在、日本病理学会認定の病理専門医1名が「病理診断」を行い、日本臨床細胞学会の認定資格をもつ「細胞検査士」3名が「細胞診断」の補助を行うことにより、臨床医の依頼に対応していますが、特殊な症例については、大学や外部検査会社での判断を仰ぐなど対応をしています。

今後においても、臨床医と病理医はもとより、他の医療スタッフとの連携を密にして、患者さんへの適切な治療に努めていきます。



病理診断「顕微鏡室」

「いきいき・にこにこ祭
(仮称)」について

市民の声

小黒 弘

問 砂川市の死亡原因の60%は生活習慣病だと言われていますし、10年後には高齢化率も40%を超えると推計されています。

そのような中、ますます健康に対する知識、興味を高めてもらうことが大切だと考えます。

答 そのような中、ますます健康に
対する知識、興味を高めてもらう
ことが大切だと考えます。
今は中止になっている「健康ま
つり」の内容はもとより、市内の
ボランティア団体などの活動紹介、
介護用品・健康食品の展示販売、
健康レストランなど、赤ちゃ
んから高齢者まで楽しみながら健
康を考える「いきいき・にこにこ
祭(仮称)」の開催を提案します
が、その考え方について伺います。
答 食生活を通じた生活習慣の改
善を図る食生活改善協議会の活動
や軽スポーツによる健康づくりの
普及のため、いきいき運動推進員
の活動などが市民の健康づくり
に繋がっており、健康まつりに代わ
るイベントの実施についての考え
はありません。

乳幼児紙おむつ用ごみ袋
支給事業について

問 次代を担う子ども達が元気で
生き生きと成長し、子育てに喜び
と楽しみを持ちながら、安心して
子どもを産み育てられる環境づく
りの一環として「乳幼児紙おむつ
用ごみ袋支給事業」を実施する考
え方について伺います。

答 砂川市は、安心して子育てが
できる環境づくりをすすめています。
子育て支援に係る物品の支給
については、慎重な判断が必要で
あり、現段階において、実施する
考えはありません。



乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業

幼稚園就園奨励補助
制度について

公正会

増井 浩一

問 幼稚園就園奨励補助金が他の
市町から比べると少ない現状であ
ります。そこで、これまでの経緯
を含めた概要と砂川市の現状、見
直しについて伺います。

答 平成16年度に行われた砂川市
の行財政改革で各種補助金制度運
用のあり方を検討しました。全国
の幼稚園の平均額と、砂川市周辺
の幼稚園との間に大きな差がある
ことから、砂川市から児童が就園
している各幼稚園の入園料及び保
育料を基準として見直すとともに、
所得区分についても砂川市の経
済状況等の実態に合わせて見直す
べきとされました。

現在もこの制度を運用していま
すので今のところ見直しは考えて
いません。

ただし、その年度に不利益が生
じないように当該年度の基準を元
に運用を図り改善していきます。

問 今後、子育て支援は重要な行
政課題と思っておりますが、市長に
幼稚園就園奨励補助制度の見直し

について伺います。

答 子育て支援の考え方ですが、
私は奨励補助というよりは、国の
状況を見ますと、子ども手当が廃
止されると思います。そこで当市
の子育てをどうするのかを考える
と、子ども手当が廃止になると影
響が出ます。総体的に、どれとは
言えませんが子育て世代に悪い影
響が出ないような政策を考えてい
かなければいけないと思っていま
す。加えて、国の動向を見ながら
何らかの方法を模索していきます
が、幼稚園就園奨励補助以外の所
で検討していきます。



幼稚園就園奨励補助制度